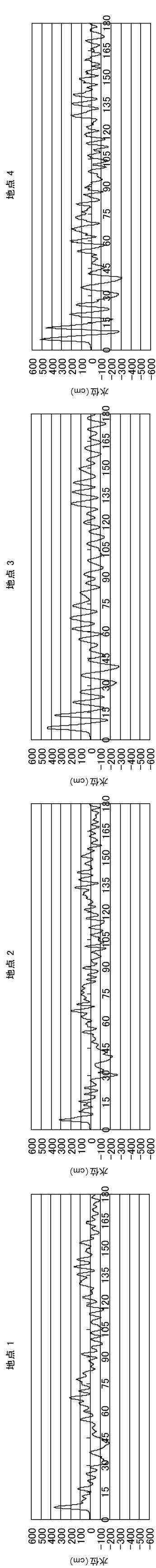


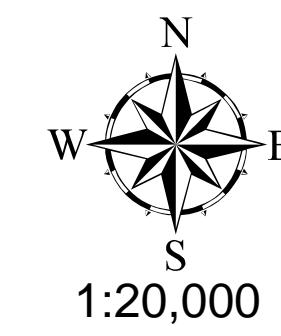
経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。



宇久須港 津波防災情報図(進入図)

計算条件：最高水面

・津波は、震源の位置、規模、細かな地形の影響などにより、試算した津波と異なることがあり、過去には、今回の津波の試算より大きな津波が来たことがある。

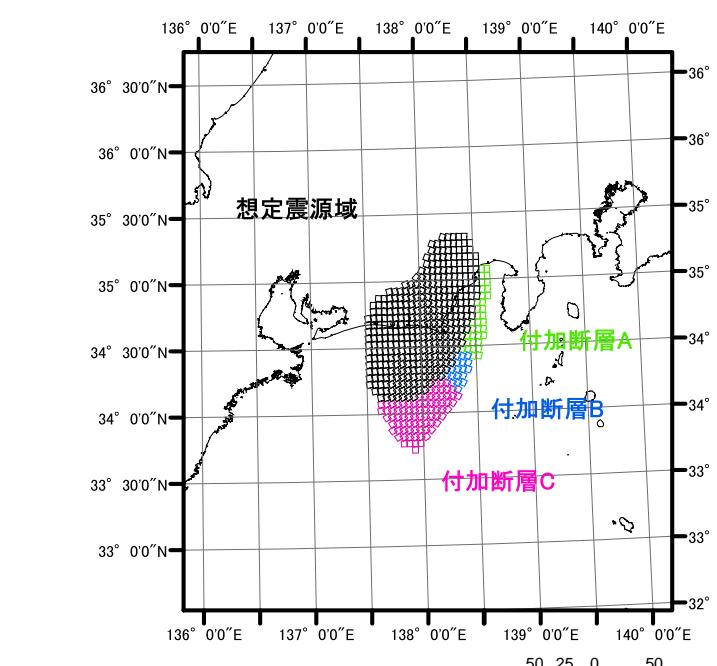


産業系：火川フル図法
測地系：世界標準地図(WGS84)

水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
○ 経時変化図出力点
最大水位上昇
550～最大590cm
500～550cm
450～500cm
400～450cm
350～400cm
300～350cm
250～300cm
200～250cm
150～200cm
100～150cm
50～100cm
50cm未満
進入時最大流 [knot]
→ 3 knot
→ 2 knot
→ 1 knot

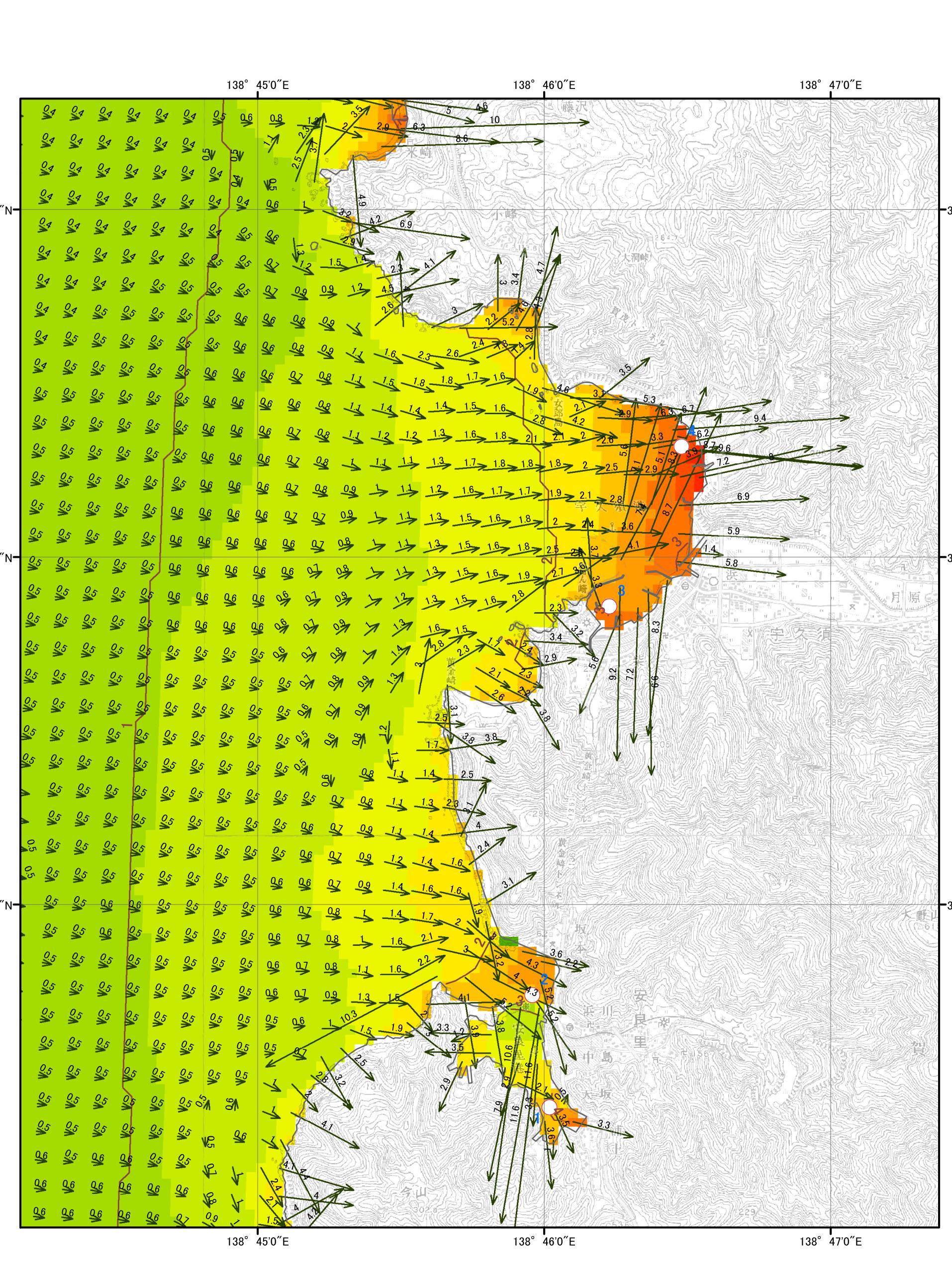
- ・津波の到達時間は、水位が10cm変動した時点を算出している。
- ・海岸構造物は、地震・津波の影響を受けないものとして計算している。

想定震源域と付加断層の位置



	中央の概位	中央の深さ
想定震源域	34°45' N, 138°02' E	19km
付加断層 A	34°45' N, 138°30' E	4km
付加断層 B	34°15' N, 138°20' E	6km
付加断層 C	34°00' N, 138°00' E	7km

・本図は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会」(平成13年12月11日)」で公表された断層モデルを使用した。



・試算に使用したデータは、海上保安庁海洋情報部のJ-EGG500 J-BIRD、沿岸の海の基本図地形データ、及び海図を作成する際の基礎データ等を使用した。

・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。
(承認番号 平成15総復第673号)

・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。
(承認番号 平成15総使第672号)

作成機関：海上保安庁
作成年月：平成15年3月(初版)
第2回改訂：平成16年3月(ver1.2)